

岐阜県嚥下障害研究会 モグモグ通信 No. 28 (2016. 5 発行)

今年度は、より内容の濃い研修会、講習会、学術講演会をと考え、準備しています。奮ってご参加ください



発行所：岐阜県嚥下障害研究会
事務局：土岐市立総合病院 ST 室

「生涯の楽しみ・食・を支える」

第 19 回学術講演会中濃大会
大会長 林哲次
(岐阜県歯科医師会
地域医療委員会 副委員長、
かもの歯科医院 院長)



この度、第 19 回学術講演会(中濃大会)の大会長を務めます岐阜県歯科医師会の林哲次と申します。今大会が参加されます皆様にも少しでも実りがあるようにと 2 月に実行委員会を立ち上げ準備を進めております。

現在、日本では世界に類を見ないスピードで高齢化が進み超高齢社会となっております。そして今、肺炎による死亡数は第 3 位であり年々増加しております。これは国民の高齢化により誤嚥性肺炎が増加したためではないかといわれております。また、施設や在宅で療養している重度心身障がい児(者)も増加しており、この人たちにおいても摂食・嚥下は切り離せない問題です。誤嚥は摂食・嚥下障害により起こりますが、食べる・飲み込むといった機能が低下しているにもかかわらず普通食を摂取している人や、食べる機能があるにもかかわらず経管栄養のままでいる人など、機能と食形態のミスマッチを考えなくてはなりません。

私が所属する岐阜県歯科医師会では、在宅歯科医療人材育成事業・在宅歯科医療連携室整備事業・歯科的観点における他職種人材育成事業・障がい者等歯科医療技術者養成事業・口腔機能向上推進事業など多くの事業を通して摂食・嚥下障害の問題に対して歯科医師・歯科衛生士に限らず医

療関係者・介護関係者等、多くの職種の方々と研修会を開催しております。これは、摂食・嚥下障害の問題は一つの職種では対応が困難で、多職種の人がかかわってこそ問題解決の糸口があると考えられますが、なかなか思うように多職種連携が進みません。

そこで、今年度の学術講演会では、「生涯の楽しみ・食・を支える」と題して岐阜県歯科医師会でも多職種連携のツールとして利用させていただきはじめて OHA T (看護・介護スタッフが障害者や要介護者の口腔問題を簡単に評価するための口腔スクリーニングツール)の日本語翻訳した OHA T-J を作成された、藤田保健衛生大学医学部歯科 教授 松尾浩一郎先生と先生とともに摂食・嚥下障害問題にとり組まれてみえます、藤田保健衛生大学病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 看護長 三鬼達人先生のご講演をいただき口腔領域の問題点への対応と上手な多職種連携の取り方などについて考えていきたいと思っております。

11月13日(日)に タウンホールとみか で開催されます今大会に一人でも多くの方、そして一種でも多くの職種の方々に参加していただき顔の見える関係を築いていきたいと考えております。皆さまの参加を実行委員一同心よりお待ちしております。



平成 27 年度 第 5 回 研修会レポート

第 5 回研修会に参加して

多治見市民病院
リハビリテーション課
言語聴覚士 林 洋平

平成 28 年 3 月 5 日に朝日大学で開催された、岐阜県嚥下障害研究会第 5 回研修会に参加させていただきました。今回は「活動発表・講演」ということで、向井 美恵先生の貴重なお話が聴けただけでなく、病院から老人ホームでご活躍されている ST・歯科衛生士の方の小児から成人分野での取り組みなどについて知ることが出来ました。

特に向井先生の講演では障がい者の摂食嚥下リハビリテーション～小児期、成人期、高齢期生涯にわたる支援を目指して～ということで多職種連携の必要性や診断のための診査方法、摂食・嚥下過程の障害内容と対応の基本などについてご講演頂き大変勉強になりました。

中でも特に印象深かったことは心の栄養・心の味わいということで、食物の美味しさは味覚・嗅覚・触覚・視覚・聴覚の全ての感覚を使って感じるものというものです。五感を使って美味しさを感じながら食べた時、脳内に様々な脳内物質が放出され、その作用によって精神高揚、摂食・消化促進、免疫強化などに繋がり心身ともに生き生きとよみがえります。私自身が食べることが楽しみで好きであるのと同様に、摂食・嚥下障害の方にも可能な限り五感を使って楽しく美味しい食事をして頂けるよう、今後も食べること・食べたい思いを支える努力をしていきたいと思いました。

貴重なご講演を頂いた向井先生をはじめとする諸先生方や研修会を主宰してくださったスタ

ッフの皆様方、本当にありがとうございました。

日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）13:30～16:30

会場：朝日大学 1 号館 3 階 第 4 大講義室

内容：1. 症例・活動発表 20 分×3 名

①「肺炎予防の取り組みについて」

特別養護老人ホーム ほほえみ福寿の家

歯科衛生士 伊藤ひとみ氏

②「脳幹梗塞後の重度嚥下障害から 3 食経口摂取に至った 1 例」

木沢記念病院 言語聴覚士 小林正典氏

③「ST 訓練時に予想される急変時の対応～ロールプレイを通して学んだ嘔吐、窒息、心肺停止～」

国立病院機構 東名古屋病院

言語聴覚士 中西智子、近藤友美氏

2. 講演 120 分

「障がい者の摂食嚥下リハビリテーション～小児期、成人期、高齢期 生涯にわたる支援を目指して～」

朝日大学客員教授、昭和大学名誉教授

歯科医師 向井美恵氏

会費納入のお願い

納入金額：年会費 1,000 円

未納者は宛名ラベルの西暦横に未と記しています。

振込先：郵便振替 加入者 岐阜県嚥下障害研究会
口座番号 00890-3-114142

締め切り：8 月末日

* 通信欄に「〇〇年度分会費」とご記入願います。

* “振替用紙の控え”をもって 会員証とします。

* 2 年間会費を滞納すると、退会となります。

（注）未入会者は 入会申込み手続きが 別途必要！
問い合わせ：土岐市立総合病院リハビリテーション部

言語聴覚士 加藤まで

FAX 0572-54-8488

または、メールにてお問い合わせください。

アドレス:

gifukenengesyogaikenkyukai@yahoo.co.jp

第6回 研修会レポート

浅野一恵先生から学ぶこと

JA 岐阜厚生連
久美愛厚生病院
リハビリテーション科
言語聴覚士 田宮久史

衝撃を受けました。

私は今年度より小児の摂食嚥下について直接指導を行う他、保育園への巡回指導も行うことになっていたため、「しめしめ。ちょうど良いタイミングで研修会が開かれるぞ。どれ、一つ小児領域の知識でも深めてやろう。ひっひっひ…」と「三枚のお札」に出て来るやまんばのような気持ちでこの研修会に参加致しました。ところがそこで学んだことは知識以上のことでした。

浅野先生のお話しは「願い」から始まりました。それはなぜ我々が子ども達の摂食嚥下について考え、アプローチするかといういつまでも健康で、いつまでも笑顔で過ごしてほしいからと。そしてそれを実現するために苦痛ができるだけ少なく、喜びができるだけ多く得られる具体的な方法を「食事」を通じて共に考えていきたいからとのことでした。

先生の言葉からは症状にのみ注目する姿勢は微塵も感じられず、目の前の人を救い、かつその人のご家族が笑顔で過ごせるためにはどうしたら良いかを真摯に考える姿だけがくっきりと浮かんでいました。まさに人の心で考え、科学者の目でみるプロの姿がそこにはありました。そして一緒に

日時：平成27年3月12日（土）9：30～16：30

会場：岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校

自立活動室・他

講師：社会福祉法人小羊学園

重症心身障害児施設 つばさ静岡

小児科医師 浅野 一恵 氏

管理栄養士 府川 恭子氏

調理師 鈴木 崇之 氏

テーマ：「重度障害児者への食事支援と食形態を考える

～つばさ静岡の実践から学ぶ～

日程： 9：20～ 受付

9：55～10：00 オリエンテーション

10：00～12：00 〔講義〕

12：00～13：15 昼休憩

13：15～16：00 〔調理演習

（途中休憩15分）〕

参加して下さった管理栄養士の方と調理師の方の熱意も素晴らしかった。どうしたら子ども達が安全に楽しく食べられるのか、色々と試行錯誤した中からようやく辿り着いた調理方法を惜しみも無く披露して下さい、この方達からもプロの姿勢が伝わってきました。つばさ静岡ではチーム一丸となってプロフェッショナルな支援をしておられたのです。もちろん講演の内容も素晴らしく、教科書以上にエビデンスがあり、本当に興奮したことを思い出します。

私も患者様が笑顔で苦痛なく過ごせるよう、チームとしての力を挙げる努力をしようと心から思いました。本当に刺激的な研修会となりました！

岐阜県嚥下障害研究会

検索





研修会・学術講演会案内

第19回 摂食嚥下リハビリテーション 初級講習会

日時：平成28年8月21日（日）

9時30分～16時

場所：土岐市立総合病院

内容：1. 摂食嚥下のメカニズム
2. 摂食嚥下障害者の加齢による影響
3. 摂食嚥下障害の評価
4. 間接訓練、直接訓練
5. 小児の食支援（発達と支援）
6. 食支援に必要な血液生化学データの基礎知識
7. リスク管理：低栄養、脱水、誤嚥、窒息、
8. 口腔ケア（演習を含む） など

講師：加藤孝憲氏 土岐市立総合病院 言語聴覚士

川口千治氏 朝日大学附属病院 歯科衛生士

柴田一浩氏 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

豊島義哉氏 国立病院機構東名古屋病院 言語聴覚士

参加費：会員1,000円 非会員3,000円

第9回 小児摂食指導講習会（多職種・ 初級コース）

日時：平成28年9月3日（土）13時～17時50分

9月4日（日）9時～15時30分

場所：岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター

講師：日本ボバース研究会 インストラクター

言語聴覚士 山川真千子氏

東京都立北療育医療センター

言語聴覚士 虫明千恵子氏

西宮市立こども未来センター

言語聴覚士 濱田恵里子氏

内容：VTRによる事例観察/摂食嚥下運動の観察と
確認/定型発達概論/脳性まひ児の食事の問題/
評価およびプログラムの立案/治療・支援の実際/
食事姿勢口腔コントロール与え方等/身体・姿
勢のコントロールを体感する

参加費：会員6,000円 非会員8,000円

定員 40名（先着順）

平成28年度 第1回研修会（成人・高齢領域）

日時：平成28年7月3日（日）13時～16時

場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 1階

岐阜市司町40番地5

内容：12:30～ 受付

13:00～ 株式会社大塚製薬工場様・ティ
アンドケー株式会社様 情報提供

13:30～ 講演

「嚥下調整食を支えるスタッフに伝えたいコツ

東海学園大学 健康栄養学部管理栄養学科

准教授 徳永佐枝子氏

参加費：会員 1,000円 非会員 1,500円

定員：50名（定員になり次第、参加受付は終了とい
たします）

締切日：平成28年6月24日（金）必着

第19回岐阜県嚥下障害研究会 学術講演会 中濃大会

日時：平成28年11月13日（日）

場所：タウンホールとみか（岐阜県 富加町）

10:05～12:05 講演1

仮題「フレイルとサルコペニア」

講師：松尾浩一郎氏 藤田保健衛生大学 教授

13:45～14:55 講演2

仮題「口腔ケアと摂食嚥下のチームアプローチ・上
手な多職種連携の取り方」

講師：三鬼達人氏 藤田保健衛生大学病院看護長

15:00～15:50 ディスカッション

*嚥下障害補助食品&口腔ケア用品の展示、配布

参加費：会員 2,000円、非会員 3,000円

— 編集後記 — 今年度は、小児摂食指導講習会（多職種・初級コース）、嚥下調整食に関する研修会を計画しました。奮ってご参加ください。TOYO